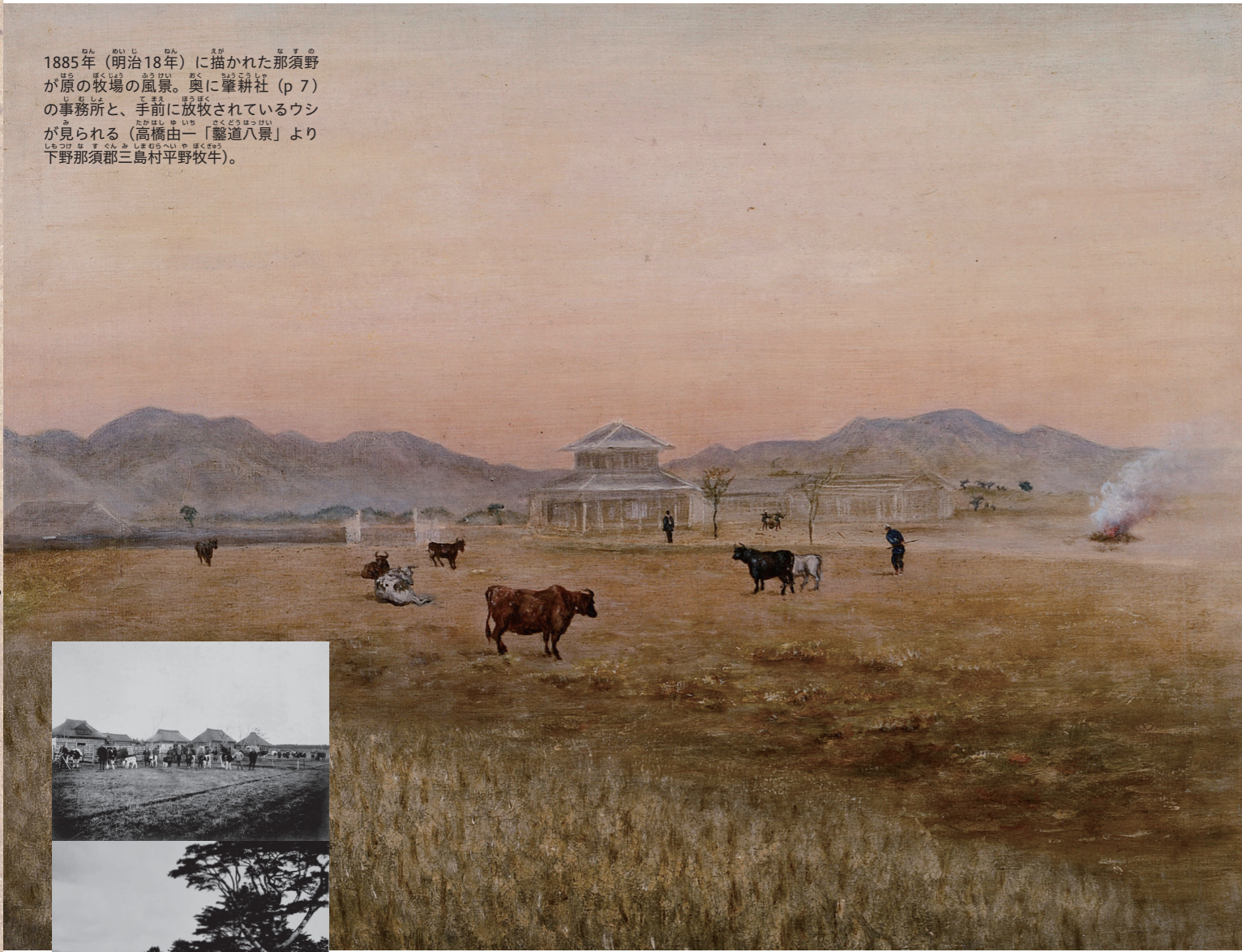


開拓と農場

カヤ原と石ころが多く、やせた原野を開墾し、那須野が原にはじめて農場ができたのが、今からおよそ140年ほど前。40もの農場ができ、そのうち華族の経営する農場は19農場にもなりました。

1885年(明治18年)に描かれた那須野が原の牧場の風景。奥に肇耕社(p7)の事務所と、手前に放牧されているウシが見られる(高橋由一「鑿道八景」より下野那須郡三島村平野牧牛)。

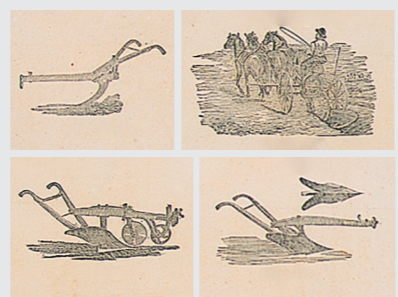


▲(上) 大山農場のウシと牧夫と家畜舎(昭和前期)。
 (中) 千本松農場のヒツジの放牧と松方別邸(昭和初期)。写真: 個人蔵
 (下) 千本松農場のトラクター(1931年(昭和6年)ごろの写真)。

華族によって開拓された昔の農場の風景

那須野が原の農場開拓では、まず県営那須牧場が1878年(明治11年)に開かれました。その後、地元の名士たちにより結社農場や個人農場がつけられました。ウシやヒツジを育てたり、ブドウ栽培をしたりと、西洋の農作物がつけられました。さらに東京から近いこともあり、華族たちも農場経営に乗り出します。

明治時代の西洋農具



「東京三田農具製作所製造農具類之図1」

開拓からおよそ140年 今の牧場の風景

千本松農場 Senbonmatsu Farm

松方正義(p7)が開いた千本松農場がもとになっている牧場です(現在はハウライ株式会社が経営)。1946年(昭和21年)からウシの飼育など酪農をはじめ、今では観光牧場としても人気があります。今の那須野が原には牧場がいくつもあり、明治時代の放牧風景のおもかげを残しています。



▲春の風景 土づくり



▲夏の風景 作物の収穫



▲秋の風景 牧草がり

南ヶ丘農場 Minamigaoka Farm



酪農中心の観光牧場。1948年(昭和23年)から開拓され、1964年(昭和39年)ごろから酪農専業になりました。

那須町共同 利用模範牧場 Nasu Communal Farm

乳用牛の効率的な育成を目的とした共同牧場です。1968年(昭和43年)に完成しました。

大田原市 大野放牧場 Grazing Farm of Oga in Ohtawara city



市営の放牧場。原野が広がる国有林野を、1965年(昭和40年)に造成して放牧場にしました。

